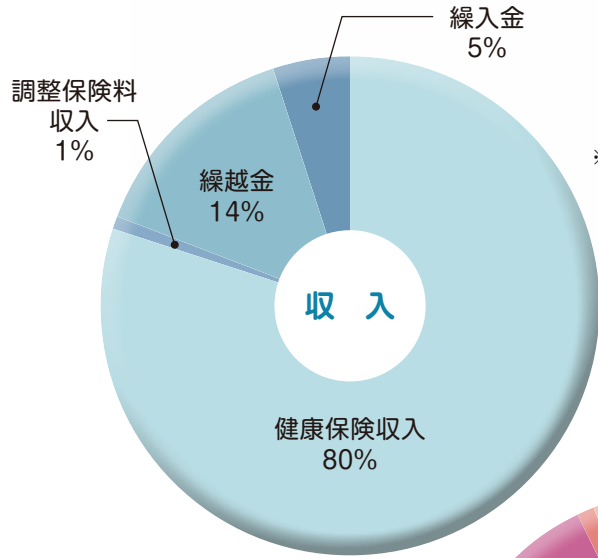


令和2年度

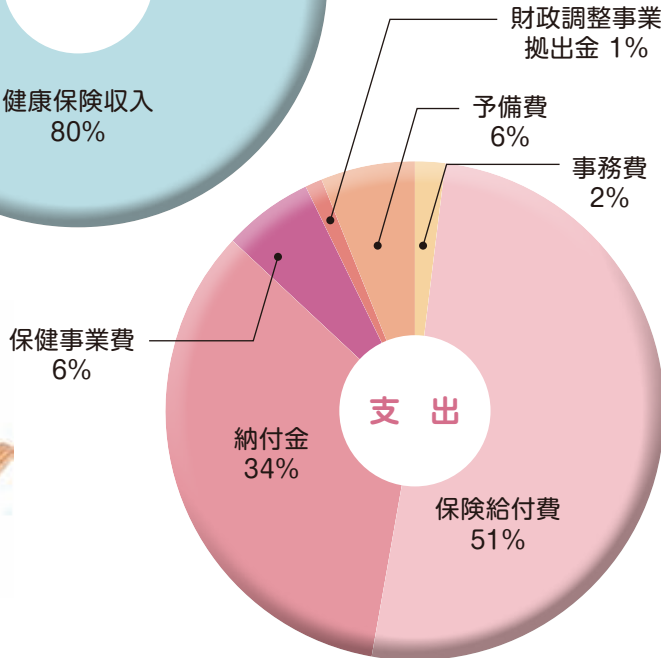
# 予算が 決まりました!

令和2年2月17日開催の第93回ワールド健康保険組合組合会において、令和2年度収入支出予算が承認可決されました。  
なお、健康保険料率は9.5%で変更ありません。

令和2年度予算は、保険料が減収見込みである一方、前期高齢者納付金が増加することから、別途積立金から繰入を行い予備費の不足を補います。これは高齢者の方の医療費が大幅に増加していることによるもので、当組合では引き続き、医療費の適正化をするために高齢者に対する事業を行ってまいります。



※ 1%未満の項目は、表示なしにしています。



## 一般勘定

(単位:千円)

収入	
健康保険収入	3,323,878
調整保険料収入	46,095
繰越金	590,000
繰入金	200,000
国庫補助金収入	504
財政調整事業交付金	10,000
雑収入	1,097
<b>合計</b>	<b>4,171,574</b>

(単位:千円)

支出	
事務費	83,227
保険給付費	2,115,054
納付金	1,434,346
保健事業費	228,108
財政調整事業拠出金	46,095
その他	8,135
予備費	256,609
<b>合計</b>	<b>4,171,574</b>

## 介護勘定

介護保険料率は、1.66%から1.80%に引き上げとなります。

介護勘定は、介護納付金が増加となる見込みです。

このため、前年度の決算残金を繰り越した上で、介護保険料率を1.80%に変更し、令和2年3月分保険料(4月分給与引落し分)から実施します。

(任意継続被保険者の方は令和2年4月分保険料より実施)

(単位:千円)

収入	
介護保険収入	281,338
繰越金	19,955
国庫補助金受入	1
雑収入	1
<b>合計</b>	<b>301,295</b>

(単位:千円)

支出	
介護納付金	286,912
還付金	500
予備費	13,883
<b>合計</b>	<b>301,295</b>

## 公 告

- ▶ 組合規約を一部改定しました。(令和元年8月1日付)  
当組合の適正な運営を図るため、「会計事務取扱規定」及び「財産管理規定」を改定しました。
- ▶ 事業所の編入をしました。  
令和元年8月1日付で「(株)アンドブリッジ」を当組合に編入しました。

- ▶ 一部負担金免除の延長をしました。  
平成30年7月豪雨の一部負担金免除を国の要請に基づき、本年6月末まで延長しました。(一部地域は本年3月末まで)  
令和元年10月台風19号の一部負担金免除を国の要請に基づき、本年9月末まで延長しました。  
平成23年3月東日本大震災の一部負担金免除を国の要請に基づき、令和3年2月末まで延長しました。

# 前期高齢者納付金について



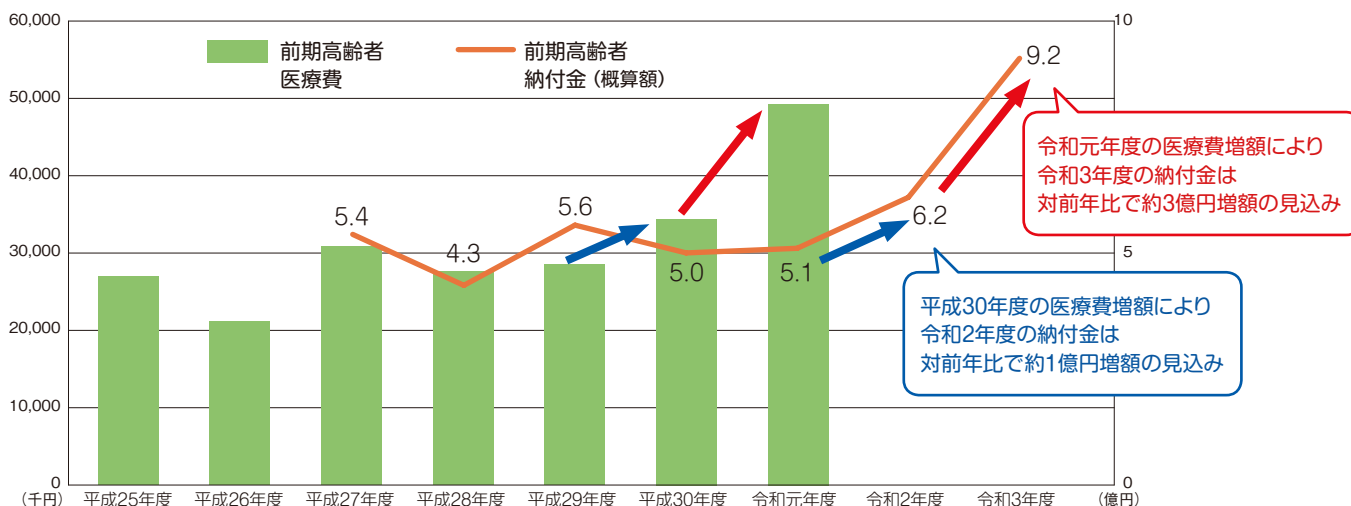
国の高齢者医療制度【前期高齢者医療制度】【後期高齢者医療制度】を支えるために皆さんの保険料が使われています。

今回は【前期高齢者医療制度】に関する前期高齢者納付金について解説します。

## 前期高齢者納付金

ワールド健康保険組合では、令和2年度の予算は、令和元年度に対して、約1億円の増額を見込んでいます。

- 前期高齢者納付金とは全国の65歳から74歳の方の医療費を全国の保険者（国民健康保険・協会けんぽ・共済組合・健康保険組合）で応分に負担する制度のことです。
- 前期高齢者納付金は、各保険者に65歳から74歳の前期高齢者が全国平均の割合で加入しているものとして負担を調整します。
- 納付金額の算定は、前々年度（2年前）の前期高齢者の医療費に対し、全保険者平均加入率と補正係数を用いて概算額を算出します。ワールド健保の場合、ワールド健保に加入している前期高齢者の医療費に対して約1.8倍～2.0倍の納付金を負担しています。
- ワールド健保では、平成30年度と令和元年度において、加入している前期高齢者の医療費が増額しているため、今後も納付金が大幅に増加することが見込まれます。



### ワールド健康保険組合では

引き続き、前期高齢者の医療費を適正化するために高齢者事業に取り組んでいきます。

- ◆ 保健師が前期高齢者の方の受診状況や服薬状況を確認いたします。
- ◆ 健康状態が気になる対象者には適宜、保健師から確認のご連絡をします。
- ◆ 健康冊子の配布など、健康の保持・増進のための情報提供をしています。

### 皆さんにもできることがあります！

被保険者のご家族の皆さんにも取り組んでいただくことで医療費の抑制をして納付金の負担を抑えることができます。

- 食事や運動、睡眠といった良い生活習慣を継続して、健康長寿を目指しましょう。
- 必ず健康診断を受けて、病気の早期発見や早期治療に努めましょう。
- 適正な受診を心がける、ジェネリック医薬品を利用するなど医療費の抑制に努めましょう。